

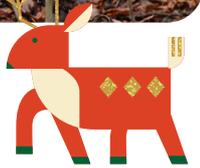
DEC

16



令和5年度 主催事業

マンスリー／ファミリー



参加家族：5組（19名）
職員・スタッフ3名

ネイチャーゲームのご報告

由加の森には、少しあばれんぼうのトナカイさんがすんでいたそうです。名前は「デコピン」。そのデコピンはずっとひとりぼっちでさびしいので、時々現れては、人にいたずらをしたり、畑を荒らしたりしていました。それを見かねたサンタクロースの子どもたちが、そのデコピンをつかまえて、みんなの役に立てるようにしようと思いました。ある日、みんなの広場に出てきたデコピンを、子どもたちがみんなで力を合わせてつかまえました。そして、人に慣らすために森の散歩に行くときは、いつも一緒に連れて歩くようにしました。そうすると、デコピンはだんだん慣れてきて、子どもたちを行ったことのない、道もない、森の奥に連れて行ってくれるようになりました。





子どもたちとデコピンはとても仲良くなって、いろいろなことを一緒にするようになりました。いよいよ、クリスマスが近づいてきました。子どもたちとデコピンは、森の宝物を探したり、落ち葉ですてきなクリスマスツリーを作ったりして、楽しいクリスマスを迎えられるようにがんばりました。そして、クリスマスの時には、キャンドルに火を灯し、お母さんに絵本を読んでもらって、大好きなマシュマロを焼いて食べました。前のクリスマスまではひとりぼっちだったデコピンは、とてもうれしくて幸せいっぱいになって、涙があふれました。それからずっと、デコピンはみんなに囲まれて森で楽しく暮らすようになったということです。

こんなお話の世界をネイチャーゲームで体験してみました。子どもたちはとてもたくましく、そして、とてもやさしかったです。

